



ロードレース大会

三月二十四日(月)希望の家ロードレース大会を開催しました。去年度は雨で中止となり、今年度も雨の為延期になり、やっと予備日だった二十四日に開催することが出来ました。コロナ期間もあり久しぶりの開催で、準備も当日もバタバタ解らない事ばかりでしたが、無事に開催することが出来ました。

各病棟から予選を勝ち抜いた上位三名と、通所事業所より二名の代表の十一名でのレースでした。事前に自分で決めた目標タイムに一番近いタイムを出した者が勝ち。各自、数を数えながら進む人、腹時計を駆使して進む人、それぞれ工夫しながらレースを楽しみました。

仮装大賞もあったので、仮装してレースに参加したり、応援に沢山の利用者が参加する事もできて楽しい時間を過ごすことができました。ピタリのタイムを出した選手が二名も出るなど、ハイレベルなレースとなり、大変盛り上がったロードレース大会になりました。

今回は、何とか開催することが出来ましたが、残念な事は、雨天延期で土佐希望の家分校が参加出来なかったことです。次回は、分校も一緒に参加してロードレース大会が出来ればと思っています。

(実行委員長 和田真治)



令和7年度 事業計画

社会福祉法人土佐希望の家の令和7年度事業計画のポイントをご紹介します。

土佐希望の家の理念

- 社会福祉法人土佐希望の家は、利用者の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、良質な医療と豊かな暮らしを提供します。

令和7年度の重点取組

1 ガバナンス（統治、組織管理等）の確立

- 法人合併前の「幡多希望の家運営検討委員会（R3.1.30答申）」から指摘を受けた「経営の健全化」「コンプライアンスの確立」「内部統制の強化」などに引き続き取り組みます。

2 施設の移転改築への取組

- 幡多希望の家の敷地は軟弱地盤であり、南海トラフ地震に備えて、できるだけ早期に移転改築する必要があります。
引き続き、適地の確保、全部門の経営改善など、移転改築の実現に向けて取り組みます。

3 在宅支援事業の在り方、展開

- 幡多希望の家の発達障害児を対象とした通所事業所「つくしんぼ」は、平成25年の開設以来、多額の赤字を出して運営しています。
施設の移転改築を控え経営改善が必要ですが、今後も人口減少に伴う利用児童数の減少により改善は困難であると見込まれることから、役割を他の事業所等に担っていただくこととし、調整が付き次第事業所を廃止することとします。

4 不適切な行為等の発生防止とより良いケアの実現

- 職員研修の充実やOJT、虐待防止委員会を通じて虐待や不適切な行為の発生防止に取り組むとともに、「いいケアしようプロジェクト会」で具体的な事例を出し合い、より良いケアのあり方を検討します。

5 災害対策の充実

- いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震をはじめ災害に備えて、実効性の高いBCPに見直しするとともに、ライフラインの確保や災害備蓄品の補充、避難訓練の実施などに取り組みます。

6 人材の確保と育成・定着

- 2年連続で初任給の引上げと基本給のベースアップを実施するとともに、施設ホームページのリニューアル等による効果的な求人情報の発信や職員のモチベーションを高める人事評価制度の導入に取り組みます。



社会福祉法人 土佐希望の家 資金収支予算書

(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日

社会福祉法人 土佐希望の家

(単位: 千円)

勘定科目			土佐希望の家	幡多希望の家	法人全体
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	12,448	0	12,448
		障害福祉サービス等事業収入	602,650	276,576	879,226
		医療事業収入	1,025,102	412,105	1,437,207
		その他の事業収入	0	214	214
		経常経費補助金収入	0	2,000	2,000
		経常経費寄附金収入	2,000	50	2,050
		受取利息配当金収入	4,389	57	4,446
		その他の収入	4,007	390	4,397
		事業活動収入計	1,650,596	691,392	2,341,988
	支出	人件費支出	1,350,724	551,359	1,902,083
		事業費支出	234,279	90,533	324,812
		事務費支出	123,309	58,084	181,393
		支払利息	53	0	53
その他の支出 雑支出		0	0	0	
事業活動支出計	1,708,365	699,976	2,408,341		
① 事業活動資金収支差額		△ 57,769	△ 8,584	△ 66,353	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	5,000	0	5,000
		固定資産売却収入	9,584	0	9,584
		施設整備等収入計	14,584	0	14,584
	支出	設備資金借入金元金償還支出	14,500	0	14,500
		固定資産取得支出	58,465	12,200	70,665
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
		ファイナンスリース債務	0	350	350
		施設整備等支出計	72,965	12,550	85,515
② 施設整備等資金収支差額		△ 58,381	△ 12,550	△ 70,931	
その他の活動による収支	収入	投資有価証券売却収入	0	0	0
		積立資産取崩収入	214,564	2,000	216,564
		退職給付引当試算取崩収入	9,080	2,000	11,080
		人件費積立資産取崩収入	0	0	0
		施設・設備整備積立資産取崩収入	205,484	0	205,484
		その他の活動による収入	0	0	0
		その他の活動収入計	214,564	2,000	216,564
	支出	投資有価証券取得支出	0	0	0
		積立資産支出	236,906	1,500	238,406
		退職給付引当資産支出	9,878	1,500	11,378
		人件費積立資産支出	0	0	0
		施設・設備整備等積立資産支出	227,028	0	227,028
		その他の活動による支出	0	0	0
		その他の活動支出計	236,906	1,500	238,406
	③ その他の活動資金収支差額		△ 22,342	500	△ 21,842
当期資金収支差額合計		△ 138,492	△ 20,634	△ 159,126	

【資金収支予算書の説明】

- ① 事業活動による収支は、利用者の減少に伴う収入減と職員給与の見直しや物価の高騰などによる支出増により、土佐の収支は△57,769千円、幡多の収支は△8,584千円となる見込みです。
利用者の確保、経費節減と効率的執行等により、赤字の縮減に取り組みます。
- ② 施設整備等については、土佐は、災害時の大規模貯留型トイレや利用者の見守りカメラなどを整備することとしています。幡多は、検査機器の更新や利用者の見守りカメラの整備などを予定しています。
- ③ その他の活動については、土佐において、資金運用している積立金が満期を迎えるため、更新することとしています。

通所成人式

令和6年度通所事業所の成人式が1月13日に厳かに行われました。今年度成人を迎えられたのは宮崎さやかさん・濱口紗奈さん・山崎音十愛さんの3名です。

皆さんそれぞれの素敵な装いに会場から「きれい」「かわいい」の声があがり、華やかな空気に包まれました。式典は来賓の方々から成人の方への思いに溢れた祝辞から始まりました。スライドショーでは誕生から現在に至るまでご家族様の愛情をいっぱいに受けた写真とメッセージに胸がいっぱいになりました。

うってかわって江差餅つき囃子では威勢のいい掛け声や踊りに笑いがおきる場面もありました。最後に担当職員と一緒に成人の抱負を発表し式典は終了しました。

皆さんがこうして無事に成人を迎えられたこと通所職員一同嬉しく思います。これからも通所で楽しく笑顔いっぱい過ごしていきましょう。本当におめでとうございます。

(楠瀬晶子)



はまださん、 ありがとう

裏手の雪割り桜が散り始め、ソメイヨシノの蕾が膨らみ始める頃、土佐希望の家の療育員とリハビリ助手を長年勤めてこられた濱田道子さんが退職されることとなり、有志の利用者さんとリハビリ職員一同で送別会を行いました。ポスターでのお知らせでしたが当日は多くの利用者さんとその保護者の参加があり、濱田さんを囲んで楽しくお茶を飲むことができました。利用者さんからは『これからどうしますか?』などたくさん

てきた濱田さんのお人柄が表れた送別会となりました。最後に、濱田さん、長い間お疲れさまでした。そして、ありがとうございました!

(穂崎なずな)

くさんの質問があり、一つ一つに濱田さんが答え、その度に笑いが起きるほど、終始和やかで明るい雰囲気に含まれており、長年利用者の皆さんと、より良い関係性を築い



退職にあたって

濱田 道子

山の上の希望の家の療育員を経て、リハビリ助手の仕事をしていただくようになり約三十七年間、大変お世話になりました。

療育員時代は、ひまわり棟で働かせていただきました。当時は、希望の家愛が強い先輩方が多く、私は、ついていくのに精一杯でした。

中でも一番の思い出は、農業高校の体育館をお借りして行っていた運動会です。利用者さんそれぞれが、持てる力を発揮し生き生きと参加されている姿に感動したことを、今でも覚えています。先輩方は、今ほど環境が整っていない状況でも、不可能なことはないと思われするような行動力とパワーがあり、私は、利用者として向き合うこと、共に楽しむということを教えていただきました。

リハビリ助手になってからは、全病棟、通所、外来と、より多くの皆様とかわらせていただくことになりました。日々のリハビリの補助や、キッズクラブ、いきいきパワフル、ボッチャ、スラローム大会、トランポリン、スパイダーなど、たくさんの方が思い出されます。

その後、コロナ禍になり、大変な状況が続きましたが、今少しずつ明るい方向に向かっていることにほっとしています。希望の家で長い間働かせていただいたこと、皆さんとたくさん話ができたこと、一緒に頑張ったこと、笑ったこと、共に過ごした時間は、私の宝物になりました。私は皆さんのことが大好きです。長い間、本当にありがとうございました。



橋村育未さん 山本やしおさん
土佐希望の家分校高等部
卒業おめでとうございます！



卒業おめでとうございます

1病棟職員、武久京子さんのお別れ会を1病棟全員と3病棟からも数名参加して西棟ホールで行いました。

武久さんに45年間の思い出話をして頂き、笑ってお別れしたいと最初言っていました。最後は涙・涙でした。これからはゆっくりとのんびり、笑って過ごしてほしいと思います。いつも皆さんを癒してくれた武久さん、45年間本当にありがとうございました。



職員お別れ会



実践研究報告会

土佐希望の家では毎年、「実践研究報告会」として、各病棟や通所部門等における研究発表を行っています。今年度は最優秀賞に1病棟生活支援課「手話を通じたAさんと支援者の意識の変化」が選ばれました。

その他、意思表出に関するものや排便の援助、便秘解消の取り組みなどについての発表がありました。



新任のご挨拶

看護生活支援部長 嶋崎文字



皆様へ

このたび、看護生活支援部長として新しく就任いたしました。平成8年4月に当施設へ就職し、当時は利用者さんも保護者の皆様も、そして私自身も若く、農業高校体育館で運動会を開催したり、病棟の利用者全員で遠足に出かけたりしていました。

先日、あぞみ病棟の利用者さんとお話する機会があり、第2希望の家と呼んでいた時代のたんぽぽ病棟（現在の3病棟西ひまわり病棟）の庭で、満開の桜を眺めながら花見をした思い出が蘇りました。桜

の木から落ちてきた毛虫に驚いて逃げ回ったことや、その桜の木で採れたサクラソボを味わったことなど、懐かしい出来事が思い出されました。

それから30年が経ち、利用者さんの状況も大きく変わり、重症化が進むとともに、幡多希望の家との合併により、施設としての規模も拡大しました。医療的ケアの重要性は言うまでもありませんが、ここは利用者さんの「生活の場」でもあります。当施設の理念である「利用者の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、良質な医療と豊かな暮らしを提供する」ことを常に念頭に置きながら、これからも尽力してまいります。

皆様のご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

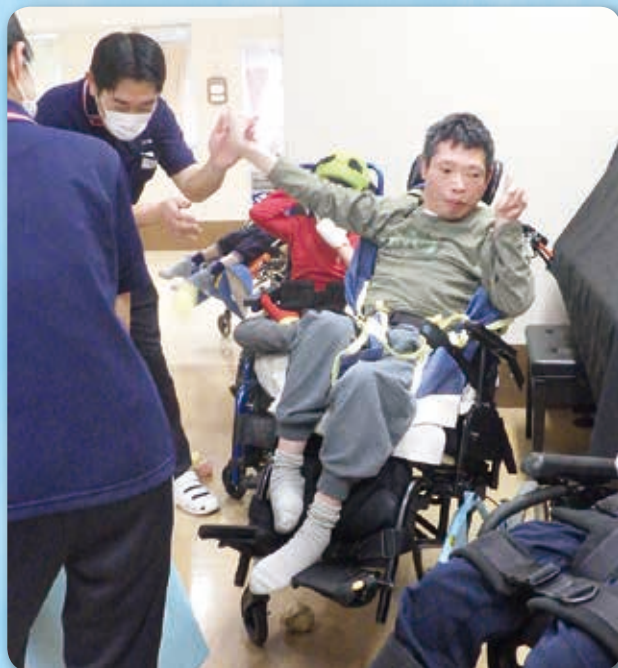
笑顔の輪



1 病棟

1 病棟では2月の節分の時期に東棟、西棟ともに「食べるお楽しみ会」で鬼退治の取り組みを行いました。青や緑の大きな鬼の口をめがけて、豆に見立てた紙のボールを投げて鬼を退治します。なかなか上手に鬼の口へ豆を入れることはできませんが、みんなの協力で豆を当てることができ、無事鬼を退治しました。鬼退治のあとは、「食べるお楽しみ」。ケーキやジュースをいただきました。今年1年、鬼を退治して、招き入れた福とともに過ごしましょう！

（ 生活支援員 宮田華奈 ）



2病棟

3月26日、2病棟西ホールにて3月の季節の行事「spring has come 春が来た」を行いました。事前練習やりハーサルが十分に行えませんでした、職員・利用者の皆さん・保護者の方のご協力もあり、無事行う事ができました。

当日は職員による演奏や歌、ダンス等を行い保護者の方もたくさん観に来ていただきました。利用者の方はいつもと違った雰囲気には喜ばれたり、ビックリされていました。

今回は保護者の皆さんにも「パプリカ」のダンスを事前に踊ってもらい、プロジェクターで上映するという形式で参加していただきました。初めての試みでしたが軽快なダンスを披露して下さい、とても盛り上がりしました。本当にありがとうございました。

(生活支援員 川村達男)



3病棟

3病棟では感染症流行の為病棟閉鎖の期間が続きましたが、そんななかでもクリスマス会、初詣、書初め、新年のおみくじ、焼き芋などたくさん取り組みをしました。

書初めではみなさん今年の抱負を書き初めされていました。それぞれの目標や願いが叶いますように♪どの取り組みでもみなさん笑顔が多く楽しまれていました。3病棟では今後も利用者さんに喜んでもらえる取り組みをたくさん計画していく予定です。

(生活支援員 竹田夏奈子)

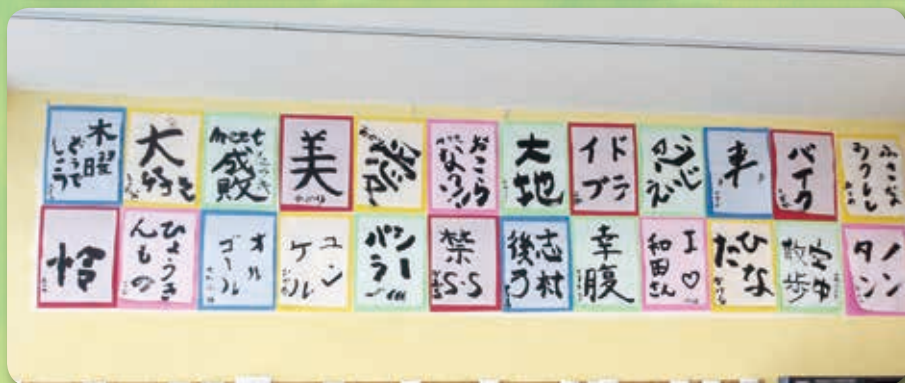


通所

通所の取り組みについて紹介します。

現在、通所では週替わりで創作、ミュージックケア、スヌーズレン、お楽しみ会等の取り組みを実施しています。今回は創作、ミュージックケア、お楽しみ会の様子です。

(生活支援員 安岡慶)



家族の窓

3病棟 和田弥生様
保護者 和田順子様



私は今、希望の家の3病棟でお世話になっている和田弥生と言います。生まれて4カ月で股関節脱臼と言われ装具生活となり、6カ月で髄膜炎となり、しかも余命まで宣告されてしまいました。それで家族はどんなわがままも聞いてくれ、それは楽しい生活でした。しかし、母が私を見ていて『この子はひょっとして長生きするんじゃないか』と急に方針が変わり、姉兄たちと同様に育てる事となりました。

私には二人の姉ちゃんと兄ちゃんがいて、上の姉ちゃんはお母さんのように厳しく、下の姉ちゃんはとても優しく、兄ちゃんは私のおやつをとったり、「お前だけのお母ちゃんじゃないぞ、しっかりしろ」と私を励ましてくれました。でも三人の姉兄は、お母さんがいない時ごはんを作ってくれたり、食べさせてくれたり、オムツを変えてくれたり、お風呂も入れて、私の為にお世話をしてくれました。感謝です。ありがとうございます。

今は希望の家の3病棟でお世話になり、先生や職員の人に声を掛けてもらったり、ボール遊びをもらったり、音楽で楽しませてもらったりしています。自分の居場所でもでき、安心した生活を送っています。お母さんがいつも『あいさつ大事』と言っていますがついつい忘れてしまいます。でも心の中で感謝しています。これから沢山山を楽しみながら皆と一緒にやっていきたいと思えますのでよろしく願います。

以上、弥生の気持ちを文章にしてみました。良い機会をいただいていたと思っています。

弥生の笑顔が私の励みになっています。どうかこれからもよろしく願っています。

ご寄付 3月末まで

島崎長子様

有光健夫様

本田扶貴様

前田久様

後免地区社会福祉協議会様

小林豊様

四国東通様

オーエムエス様

高知競輪保安労働組合様

高知広告センター様

高知競輪競馬従事員労働組合様

高知競輪競馬報道協会様

福ちゃん出版社様

テレビ高知様

サンケイスポーツ様

神戸新聞社デイリースポーツ様

サンコール様

日本トーター株式会社様

南放セーラー株式会社様

公益財団法人JKA様

岡田浩太様

日刊スポーツ新聞様

日本キリスト教団高知教会様

職員一同お礼申し上げます。

お悔み申し上げます

有光 眸 様	令和7年1月15日	ご逝去
西原由佳 様	令和7年2月1日	ご逝去
高芝模佑 様	令和7年2月19日	ご逝去
田中政清 様	令和7年3月24日	ご逝去
大前隆彦 様	令和7年3月31日	ご逝去

編集後記

今年3月に、MLBが東京ドームで開幕試合を開催しました。選手たちだけが働くのではなく、裏方のスタッフや、その試合を見て応援してくれる人たちがいて、試合が盛り上がり次につながると感じました。

新年度になり、新たな出会いや別れ、もしくはいつもと変わらない日常が再び始まりましたが、色々な立場の人たちが、それぞれ夢や目標は違えど、安全で楽しい日々を過ごせますように。